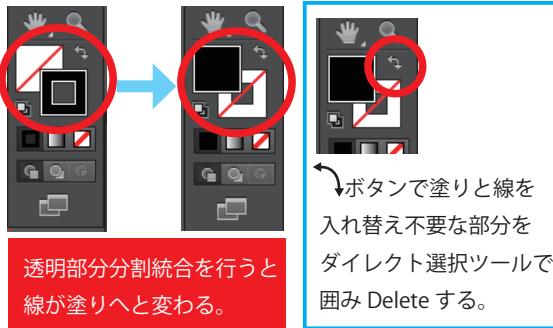


Illustrator で絵型を描く。

透明部分分割統合の上手い使い方。



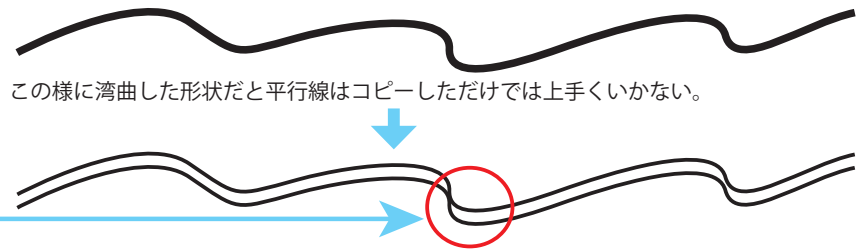
○ 部分の様にどうしても線が接近してしまう箇所が出てしまう。



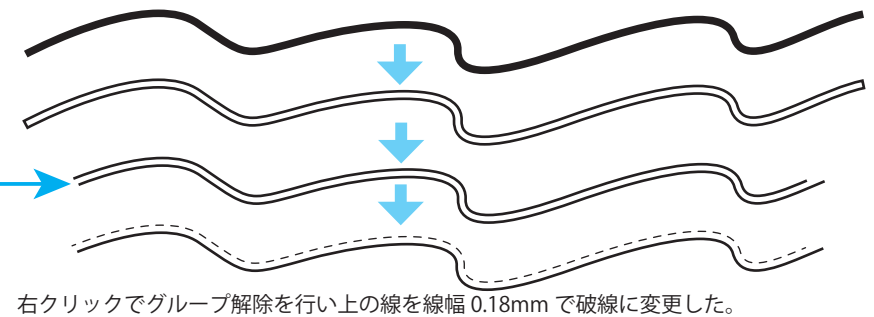
ボタンで塗りと線を入れ替え不要な部分をダイレクト選択ツールで囲み Delete する。

オブジェクトメニュー内の透明部分を分割統合を使うと簡単に平行線を引いたりアウトラインを作成する等様々なメリットがある。

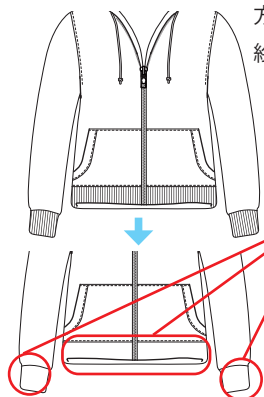
企業によっては絵型とはいえ極力正確に書いて欲しいという会社もある。
例えば絵型を 1/10 サイズで書くと仮定してスカート等の裾から原寸では 1cm の所にステッチが入っているとした場合に 1/10 サイズでは裾から 1mm の所にステッチを入れることになる。
単純な形状であればそれも難しいことではないが湾曲した形状となると随分と面倒なことになる。透明部分・分割統合はそのような作業を簡単に行う事ができるのだ。
では、実際に手順を説明しよう。
原寸で裾から 1cm の場合 1/10 であれば 1mm なのでペンツールを使って 1mm の線を描く。



そこで先程引いた 1mm の線に対して透明部分分割統合を行う。



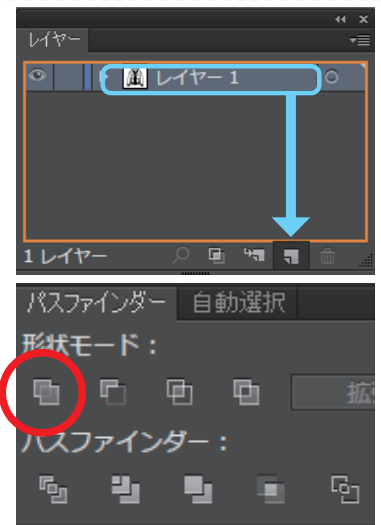
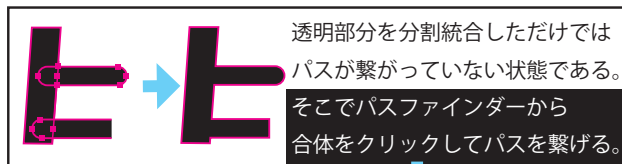
絵型のアウトラインを強調することに寄って見栄えを良くする事も可能である。



方法はいくつかあるが最も確実な方法を説明しよう。
絵型のレイヤーを複製し (絵型のレイヤーを押したまま新規レイヤーボタンに重ねる)

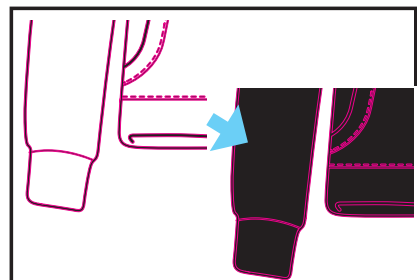
どちらかのレイヤーをロック (目のマークの横の□を押すと鍵マークが付く)
もしくは非表示 (目のマークを消す)
表示してあるレイヤー、もしくはロックされていないレイヤーから
クリッピングマスクの部分は削除する。

絵型全体を選択してオブジェクトメニューから透明部分・分割統合を行う。



次にオブジェクトメニューから複合パスを選び解除する。

複合パスはくり抜いたような状態である。
解除することによって、単純に複数の線が引かれただけの状態となる。



再びパスファインダーから合体を選ぶとアウトラインのみが残る
最後に塗り無し、線黒にして、非表示のレイヤーを表示する。
ロックしておいた場合はロックを解除し、全体を選択してグループにする。

この作業が面倒であると感じたのならば、予めアウトラインを太い線で一周して描く事をオススメする！

